

みんなの ひろば

主な内容

- 理事長あいさつ…………… 1
- 平成29年度新採用職員紹介 …… 2、3
- 松山荘台風被害を乗り越えて …… 4

125号

平成29年5月1日
発行



※上のイラストは、題字と同じ内容を指文字と手話で表したものです。

『堅実に改革を行動へと進める』1年へ 職員一人ひとりの個性を事業団の力に！



岩手県社会福祉事業団 理事長
水野和彦

1 昨年度を振り返って

1 台風10号被害を乗り越えて

昨年8月の台風10号により、松山荘が浸水被害を受け、1週間後の9月7日から、内陸部の当事業団の松風園、好地荘及び中山の園で、利用者の皆さんに過ごしていただき、さらに12月7日から、一部利用者の皆さんには、山田町の陸中海岸青少年の家に移っていただきました。そして、この3月に全員が無事に帰荘することができました。

この間、事業団職員の一体となった協力はもちろんのこと、県・市町村・社会福祉協議会、そして地域の皆さんをはじめ、他法人・企業等からの職員支援、物的支援、さらには県外からも物心両面にわたり、ご支援をいただき、心から感謝を申し上げます。

2 希望郷いわて国体・希望郷いわて大会

と「アール・ブリュットいわて」の開催

昨年10月には、希望郷いわて国体・希望郷いわて大会が開催され、当事業団においても、大会運営のスタッフや選手団の一員として、参加・支援にと二致団結して取り組んだところであります。

また、本大会の開催と同時に、県立美術館や各選手団が滞在する盛岡・花巻・北上の各ホテルでの障がい者芸術作品の展示や、ブライインドサッカー体験会の開催など、将来の障がい者芸術・スポーツの向上に向けた発展の契機として、今後の事業団の『礎』となったものと思えます。

2 本年度も職員一丸となって

1 「先義後利」の視点で新しいチャレンジ ジとやいなる展開！

- 「アール・ブリュット」関連事業の更なる開催」と次なる展開
- 余暇支援活動の充実や「岩手県社会福祉事業団（課題）支援検討会・発表会」のレベルアップ
- 療育センターの移転、みたけ・中山の改築整備の検討

など、まずは悩みながらの実行の年であり、まずは、岩手県社会福祉事業団がサポートします。わたしたち岩手県社会福祉事業団は、障がい児・者の支援をはじめとした様々な福祉サービスを、県内において先駆的に取り組んできたという誇りを胸に、今後もサポートを必要とする方々の「あったらいいな!」という思いを実現し、「いいね!!」と感じていただけるカタチあるサービスを生み出すため、職員一丸となって取り組んでまいります。

2 社会福祉法人制度改革への準備を しっかりと！

本年度は、「組織体制の充実強化」、「経営基盤の安定強化」へと本格的に動き出す年であります。

基本は、「安全な施設で安心して利用者の皆さんに日々過ごしていただくこと」です。そのためにも、『福祉の向上と経営基盤の確立』をその両輪として、自律している事業団を目指していきましよう。

3 事業団の活動を知ってもらおう！

先を見据えた地道な活動で、「いいな!のオモイを、いいね!!のカタチに」、そして地域へと伝わる努力を。事業団の力で未来の種子を育て地域の中で分かち合っていきたいと思います。

2017年度が、より一層良き二年でありますように……。

岩手県社会福祉事業団 ロゴマーク



～岩手県社会福祉事業団がサポートします～

わたしたち岩手県社会福祉事業団は、障がい児・者の支援をはじめとした様々な福祉サービスを、県内において先駆的に取り組んできたという誇りを胸に、今後もサポートを必要とする方々の「あったらいいな!」という思いを実現し、「いいね!!」と感じていただけるカタチあるサービスを生み出すため、職員一丸となって取り組んでまいります。

平成
29年度

新採用職員紹介

この春、当事業団に33名の新しい仲間が加わりました。
どうぞよろしくお願いいたします。



和光学園(総合職)
児童指導員
なか じま みちこ
中嶋道子
社会人一年目、笑顔で頑張ります！

和光学園(総合職)
主事兼生活支援員
たか はし ふみ たか
高橋史考
皆さんと一緒に精一杯がんばります！

たばしね学園(総合職)
児童指導員
おの でら み き
小野寺美紀
利用者様が安心できるような関わりたいです。

みたけ学園(総合職)
児童指導員
せき むかい りょう た
関向諒太
とてもわくわくしています。頑張ります。

松山荘(総合職)
生活指導員
さく ち ゆう き
菊池優紀
未熟ではございますがよろしくをお願いします。

松山荘(一般職)
生活指導員
おがさわら ふみこ
小笠原富美子
コツコツと一生けん命がんばります。

好地荘(一般職)
看護師
いわ ぶち みき こ
岩淵未希子
不安な事ばかりですがよろしくをお願いします。

好地荘(総合職)
生活指導員
こん の ゆ み
金野有実
笑顔と明るさをモットーに励んでいきます！

松風園(総合職)
生活支援員
や えがし か な
八重樫佳奈
笑顔と元気いっぱい、頑張ります！

松風園(総合職)
生活支援員
こ まつ ひろ え
小松裕恵
毎日元気に頑張ります！

中山の園(一般職)
看護師
すず き たか こ
鈴木多賀子
仕事を覚えて、早めに戦力になりたいです。

やまゆり(総合職)
生活支援員
さ さき りょう た
佐々木竜太
とにかく明るく元気に頑張ります！

やまゆり(総合職)
生活支援員
かん ぼやし なお と
上林直士
先輩職員からたくさん学んでいきます。

りんどう(総合職)
生活支援員
たち ばな りょう
立花遼
元気に明るく笑顔で頑張りたいと思います。

かたくり(総合職)
生活支援員
よし た じゅん いち
吉田順一
心機一転、健康に気を付けて頑張ります。

かたくり(総合職)
生活支援員
なか むら とも や
中村友哉
仕事の中に楽しさを見つけながら頑張ります。

つつじ(総合職)
生活支援員
たわら とも き
俵 禎喜
多くのことを学びます。よろしくをお願いします。

つつじ(総合職)
生活支援員
はし もと め い
橋本芽唯
たくさん学んでいろんな経験をしたいです。

こぶし(一般職)
生活支援員
やま だ りょう じ
山田隆司
利用者のみなさん、たくさん話しましょう。

みたけの園(総合職)
職業指導員兼生活支援員
にし やま こう ゆう
西山孔悠
新人らしく謙虚に明るく元気が良!!

やさわの園(総合職)
生活支援員
さ さき やす たか
佐々木靖隆
様々な経験をし、もっと成長したいです。

やさわの園(一般職)
生活支援員
なか の さと み
中野里美
笑顔を手掛けて仕事にあたりたいと思います。

やさわの園(総合職)
生活支援員
か どう みず き
加藤瑞己
日々目標を持ち、笑顔を忘れず頑張ります。

療育センター(一般職)
主事
さい どう
齊藤まなみ
初心を忘れず、笑顔で取り組みます。

療育センター(総合職)
臨床検査技師
さ さき えい こ
佐々木栄子
何事も前向きです。宜しくお願いします。

療育センター(総合職)
看護師長
むら の い ひろ こ
村野井博子
やさしさと思いやりの気持ちを大切にします。

療育センター(総合職)
看護師
しも かわ とも こ
下川智子
日々、努力しながら務めていきます。

療育センター(総合職)
保育士
かな ざわ め い
金澤芽衣
子ども達と一緒に成長できるよう頑張ります。

療育センター(総合職)
理学療法士兼生活支援員
さい どう たか ひろ
齋藤貴大
精一杯頑張ります。よろしくをお願いします。

視覚障がい者情報センター(一般職)
情報支援員
た がみ れい こ
田上礼子
新しいスタート!!と思っ、頑張ります。

いわて子どもの森(一般職)
児童厚生員
かん とも み
菅 智美
フレッシュな気持ちで頑張ります！

いわて子どもの森(一般職)
児童厚生員
さ どう ほし か
佐藤星河
明るく笑顔☆エネルギーに頑張ります！

事務局(一般職)
主任
ひろ うち えい こ
廣内英子
縁の下の力持ちになれるよう頑張ります。

辞令交付式

4月3日、事務局において辞令交付式が行われました。理事長から職員一人ひとりに辞令書が手渡されました。みなさん事業団職員としての自覚と決意を胸に、しっかりと一歩を踏み出しました。



松山荘は元気でね!

台風被害を乗り越えて!

救護施設松山荘(宮古市)は、平成28年8月30日から31日にかけて岩手県に最接近した台風10号がもたらした大雨の影響で、付近の川が氾濫したことにより、施設が浸水する大きな被害を受けました。

幸いにも人的被害はありませんでしたが、利用者の寝起きしている居室全てが水浸しとなり、浄化槽やボイラー等の付帯設備は損壊し、トイレや風呂は使用できなくなり、約100人の利用者が生活できない状況になりました。

そのため、内陸にある当法人内の施設や県立陸中海岸青少年の家へ避難し生活を送っておりましたが、3月に利用者全員が各避難先から戻り、松山荘での生活を再開しました。

発災から復旧まで、約半年もの時間を要しました。今回は、被災の状況と松山荘が復旧するまでのあゆみをお伝えします。



50cm～100cmの浸水があり、居室は泥だらけになりました。

被災当日の様子

8月30日の夜に豪雨により停電となり、普段より早く利用者に就寝を促しました。ほどなくして居室に水が入り始めたこと聞き、食堂への避難を開始しました。

全員が食堂に集まった時には水は膝の高さまで来ていて、利用者の手も借りて全員でテーブルの上に登りました。職員の焦りを見せてはいけなかったことをよく覚えていきます。

日付が変わり水は引きましたが、夜明けまでの時間は本当に長いものでし

た。寒さを訴える利用者にも毛布を渡したくても多くが水に浸かっている、居室が気になり戻ろうとする人、暗闇でのトイレ誘導、不安しかない中でしたが、明るく振る舞う利用者にも私も助けられました。

今回の台風によって自然災害に対し、より危機感を持つようになりました。あの状況で混乱が生じなかったのは、毎月の防災訓練があつたからだと思えます。常に先を見据えて備えることが大切と感じています。

松山荘 生活指導員 藤井 浅黄



段ボールベッドやパーテーションで少しでも快適さを。



暖かい部屋で安心して過ごせるようになりました。

松山荘被災から復旧まで

8月30日	被災(施設が浸水)
8月31日	施設内清掃(他法人近隣施設職員、東北地区救護施設協議会職員、ボランティア、法人内職員による)
9月1日	法人本部において法人内各施設等への避難を決定。
9月7日	中山の園グループ(31名)、松風園(39名)、好地荘(10名)へ避難。(他18名は宮古市内の病院へ入院)
9月8日	岩手県社会福祉協議会障がい者福祉協議会からの職員派遣開始。松風園体育館に避難している避難者を中心に、余暇、日常生活等の支援をいただく。(9/8～11/4まで、盛岡市、岩手中部、胆江圏域の5市3町の17施設からの、のべ72人)事業団内各施設からの職員派遣。(9/8～11/28まで、のべ98人)
9月12日	松風園、体育館避難者用を中心に災害用段ボールベッド設置。(約50床)
9月21日	岩手県に社会福祉施設等災害復旧費国庫補助協議書提出。
11月18日	陸中海岸青少年の家への再避難に係る打合せ実施。(岩手県、岩手県スポーツ振興事業団、青少年の家)
11月30日	東北厚生局による松山荘災害復旧工事査定。(～12/1まで)
12月7日	松風園の体育館に避難している利用者を中心に青少年の家へ再避難。(観光バス、公用車3台による移動)
12月16日	松山荘修繕工事開始。
2月13日	松山荘修繕工事完了に伴う完成検査終了。
2月27日	青少年の家への避難利用者帰荘
3月9日	中山の園グループ各施設への避難利用者帰荘。
3月24日	松山荘運営協議会開催。復旧状況等の説明を行う。

お礼の言葉

8月末の台風被害後から、利用者の皆さまは生活場所を変えて、約6か月経過してまいりました。

長い避難期間中、多くの物的支援をいただき、衛生面・健康面とも大きな問題なく過ごすことができました。また、県内各法人から職員を派遣いただき、施設の泥出し等の復旧作業から、利用者の生活支援・余暇支援などご支援いただきました。

不便の多い避難生活の中、利用者のお母さまが健康で充実した生活を送ることができ、この度、無事に帰荘できましたのは、これまで利用者の皆さまの生活を支えていただきました県内外、多くの皆さまのご協力があつたことです。本当にありがとうございます。

今回の災害では、幸運にも利用者の方事には至りませんが、今後、いつ同規模の災害が起きるか分かりません。今回の経験を生かし、「災害に強い施設づくり」を進めてまいります。

松山荘 施設長 中村 光二



「ようやく帰れた」「懐かしい」「綺麗になった」と安堵の表情を浮かべていました。